

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	外国語 1	
科目基礎情報					
開設学科	コンサート・イベント科	コース名	全コース	開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位			授業形態	講義
教科書/教材	教科書「Campus English」				
担当教員情報					
担当教員	櫛田 Kyla		実務経験の有無・職種	有・英会話講師	
学習目的					
既に国際化した日本において世界各国の有名アーティストをインバウンドすることは容易になり、日本の音楽業界も10年前に比べ国際化している。本科の学生に於いても国際的アーティストを招いた音楽フェスなどに従事する機会が多くあり、その場において英語に対する関心が深くなることは間違いないと思われる。この講義では基本的な会話力を養うべく簡単な英語を用いた対話型の授業を展開し、英語を学ぶ難しさを払しょくし、自学でも英語を学ぶ機会を自発的に得ようとする気持ちを誘発できるよう、英語の楽しさを伝えていく。常に担当する講師以外の外国人を講義に招き、初対面の外国人相手にしても英語を用いて話すことができるよう、英語での会話力を身に付けていく。					
到達目標					
教科書を使用するが、使用方法としては会話分の参考にする程度であり、英語で会話することを軸に講義を展開していく。ただ単語を覚える、文法を覚えるといった中学校・高等学校で経験した英語の授業とは違い、英単語に隠されたたくさんの意味をニュアンスから理解できるよう、より実践的に会話できるように講義を展開していく。英会話の「この部分を押さえておけば会話に支障がない」というレベルを理解することで、プライベートで外国人に出会っても、道案内などを分かり易く正しくできるようになるので、その点を抑えながら授業を行う。来るオリンピックによる国際化の波に乗り、グローバルに活躍できるスタッフを育成することがこの講義の到達目標である。					
教育方法等					
授業概要	教科書「Campus English」を元に、基本的な英会話を習得する。英語で話すことに抵抗を失くすことで、外国人とのコミュニケーション意欲が増すと考える。教科書を進めることだけでなく、時に講師以外の外国人と英語を用いて会話し、自分の英語力を試すと共に、より一層の勉学意欲を誘発する。グループワークを通じてこれまで固定されていた英文の活用方法を払しょくして、より実践的に活用できる英会話を身に付けていく。講義は外国人講師主導で行われ、日本語を極力少なくして展開する。				
注意点	この講義では積極的に話すことが大切であり、学生が消極的になってしまうと講義の成果が得られなくなってしまう。そのため全課程においてチームティーチング制を導入し、講師陣が学生に英語で会話することを促していく。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	レポート	0%			
	成果発表 (口頭・実技)	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	Where is PC room?		道を尋ねられた時に使う英語を習得する		
2回	What does "term" mean?		5W1Hを用いて自分から英語で質問する（Whatの多様性）		
3回	When does Golden Week Start?		5W1Hを用いて自分から英語で質問する（Whenの正しい使い方）		
4回	I'm a member of the International Exchange Club		ロールプレイングを通じて、まずは友人間で英語を使って話してみる		
5回	I got a part-time job at the International Foods Market.		Do you have a part-time job?という質問に対し、自分なりの答えを返す練習をする		
6回	What do you think about this program?		会話文を朗読して、会話のイントネーションを真似て学んでみる		
7回	How do you spend your vacation?		相手の予定について英語を用いて質問してみる		
8回	When is the due date?		何かの締切日を聴く質問とその答えを練習する		
9回	May I take a bath every night?		～しても良いですか？という聞き方とその答えを練習する		
10回	Is this the right bus to go downtown?		～へ行くのに正しい乗り物ですか？という聞き方とその答えを練習する		
11回	Do you need some help?		助けは必要ですか？という聞き方とその答えを練習する		
12回	It look like my GPA has improved.		科目の成績の聞き方を練習する		
13回	I don't know which to choose.		～を登録してみたかどうかという提案の仕方を練習する		
14回	He got a job offer with a copy machine company.		～を依頼する聞き方を練習する		
15回	まとめ		全体のまとめ		